

## 令和元年度職業能力開発論文コンクール「受賞者の声」

受賞者：厚生労働大臣賞（特選）  
山中 裕二 氏

所属：独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 香川支部  
四国職業能力開発大学校

テーマ：新たな技能・技術領域の職業能力開発に必要な専門知識・技能・技術及び指導方法に関する調査・研究

論文名：環境エネルギー技術をアクティブラーニングで学ぶ訓練効果の検証と継続的改善



普段はどのような業務に携わっていらっしゃいますか。

ポリテクカレッジで職業訓練指導員として、学生訓練である専門課程：電気エネルギー制御科の担当や、在職者訓練である電気・電子系のセミナー等を担当しています。

学生訓練では、学習指導と生活指導を行っており、アクティブラーニングを実践するにあたっては学生が課題を達成する解決策を主体的に考えなければならないことから、生活指導に分類される指導が非常に重要で、最近は、大きな労力を注いで試行錯誤しています。

今回の論文はどういった方に読んでいただきたいですか。

現在、ポリテクカレッジの電気エネルギー制御科を担当している指導員やポリテクカレッジに赴任したばかりの若い指導員、また現在行っている指導法に疑問を持っている指導員に読んで頂けると幸いです。

今回の論文を作成する際に気を付けたことはございますか。

論文内で必要な場所に見やすい図・表を用いて、できるだけ第三者が読んでわかりやすい内容になるように心掛けました。

今後の応募を検討されている方へのメッセージはございますか。

自分は元々、このような文章を書くことに対して苦手意識がありました。しかし、学生の書いた文章の添削や紀要の作成等の経験を通して、今の文章力が身に付いたのだと思いま

す。未だ苦手意識はありますが、今回の受賞により自信がついたのも事実です。もし、投稿できるような題材やテーマがあれば、自分の力量を測る機会として、気軽に申し込まれてはいかがでしょうか？

**最後に、受賞された心境などをお聞かせください。**

このたびは、厚生労働大臣賞特選という、大変名誉ある賞を賜り、恐縮するとともに、誠に嬉しく思っております。また、本論文を作成するにあたって、ご支援くださいました関係者の皆様には、厚く御礼申し上げます。

本論文では、従来の訓練に代わってアクティブラーニングを導入したことによる訓練効果と、他の訓練への展開方法について述べました。アクティブラーニングを導入したことで、成績が向上したことはもちろんのこと、今回数値化できなかった様々な良い効果があったように感じています。ただし、アクティブラーニングは万能ではなく、導入による失敗事例も耳にしております。

私は、今後の職業訓練において、アクティブラーニングの正しい活用方法が更に広まり、職業訓練全体の質が高まっていくことを切望しております。

今回の受賞に満足することなく、今後も訓練の質の向上や良い論文の作成、指導員としての資質向上に精進してまいります。